

北海道大学病院に入院された患者さんとそのご家族へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検査結果をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] *Clostridium difficile* 感染症(CDI)の病院サーベイランスに関する研究

*クロストリジウム・ディフィシル (*Clostridium difficile*) はヒトの腸内に定着する細菌の一種です。この菌の保有者に抗菌薬治療が行われると、正常腸内細菌叢が攪乱される結果、クロストリジウム・ディフィシルの異常増殖と CD 毒素の産生が起こり、下痢症を発症することがありますが、これをクロストリジウム・ディフィシル感染症といいます。

[研究機関] 北海道大学病院 感染制御部

[研究責任者] 石黒 信久 (感染制御部・部長)

[研究の目的] より適切な感染対策を行うために、本邦におけるクロストリジウム・ディフィシル感染症の発生頻度、ハイリスク群の同定、菌株の解析を行うこと。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2013年12月から2014年5月までの間に北海道大学病院に入院された患者さん、及び2014年6月から2014年11月までの間に北海道大学病院の11-2病棟と12-2病棟に入院する血液内科の患者さんで、軟便あるいは下痢の症状があり、クロストリジウム・ディフィシル感染症と診断された方

●利用するカルテ情報

基本的な患者情報(年齢、性別、併存疾患、投与薬剤、入院の履歴など)、クロストリジウム・ディフィシル感染症に関する症状と検査結果、治療内容と治療後の経過

●利用する菌株

患者さんの便から分離された(CD毒素を産生する)クロストリジウム・ディフィシル菌株

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、ご本人と直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際もご本人と特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検査結果を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 感染制御部 担当医師 石黒 信久

電話 011-706-5703, 011-706-7949 FAX 011-706-5703, 011-706-7948